
「肉食系な彼女」

三毛猫

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

「肉食系な彼女」

【Nコード】

N0876BA

【作者名】

三毛猫

【あらすじ】

買い物帰りにはったりと姉の友人に出会った。牛井を食べに行こうという彼女に連れられて。

【生徒会長】 【牛井】 【エレベーター】 のお題で書かれた掌編です。以前 `texpo` にて公開していました。現在 `pixiv` にても「三毛猫の三題話」の一遍として公開中です。

買い物帰りに、エレベーターの中でばったりと姉の友人の綾乃先輩に出会った。

綾乃先輩は、うちの学校の生徒会長だ。しかし、昔はよくうちに遊びに来ていたので生徒会長さままというより姉の友人という印象の方が強い。うちに遊びに来ると、姉と先輩と俺との三人でよくゲーム大会をしたものだ。最近は忙しいのかあまり会う機会が無かったが、挨拶のひとつもしておかないと姉にどんな目に合わされるかわからない。

「こんにちわ」と軽く挨拶をすると、綾乃先輩は軽く目を見開いて「おお、夏美の弟の……秋子ちゃん！ ひさしぶりだね」と言ったので「いやいやいや、弟で秋子って何ですか！ 秋彦です。あーきーひーこ。ひを抜かしちゃダメです」と訂正を入れる。

「冗談よ。昔、妹だと思ってたのは本当だけだ」

「いま明かされる驚愕の事実！」

「でもまあ、ちょうどよかった。アキちゃん、牛丼食べに行かない？」

「え、なぜに牛丼を？」

「牛丼が無性に食べたいのだけれど、一人ではちょっと入りにくくてね……というわけで」

気がついたらなぜか牛丼屋の前にいた。おかしい。なんか記憶が飛んでいる気がする。

「メガ牛丼、トン汁サラダセットに卵と御新香つき、を君が注文しなさい。あたしが食べるけど。あたしがミニ牛丼注文するから、君はそれ食べてね。あ、もちろんあたしの奢りだから」

「はあ……」

いちいちそんな面倒なことしないで普通注文すればいいじゃないと思うのだけれど、すごく満足げに牛丼をほおぼる先輩の顔を見

たら、まあいいか、という気になった。しかし、先輩の財布にお金が入ってなくて結局俺の奢りになってしまったのは先輩の計画通りなのか？

(後書き)

秋彦さんと綾乃さんのお話。綾乃さんは夏美さんのお友達。
肉食系ということで牛丼食べさせてみましたと言っ感じのお話。
未読の方は「妹弟間紛争」「備えあれば憂いなし?」「もどろぞ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0876ba/>

「肉食系な彼女」

2012年1月2日00時49分発行